

事業番号	09 03 04	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検	
事業名	農業改良普及事業	部局	農政部	課・室	農業技術課
		実施期間	S23 ~	E-mail	nogi@pre.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	②県民の豊かさ全国トップレベルを維持				
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進 3-7 先端技術の積極的な活用・導入				

1 現状と課題

目指す姿	○高度化する農業技術や環境と調和のとれた農業生産、多様化する流通・消費形態、高度情報化等に対応した農業経営者が地域で活躍するとともに、農業・農村を担う組織づくりがなされ、地域農業の振興と活性化が図られている。 ○食品産業界が求める農産物を生産し契約取引を行う農業者が増加し、産地が育成され、農家所得の向上が図られている。	
これまでの取組	○新たな経営改善手法(トヨタ式カイゼン手法)の導入 ○農業大学校研修部における研修を通じた新規就農の支援 ○技術指導による1等米比率全国1位の達成のための活動 ○県オリジナル果樹品種「シナリップ」、「クイーンルージュ®」等の作付拡大による果樹経営体の収益性向上の推進 ○スマート農業の推進のため、無償貸与の実施に加え、現地機関にタブレット端末を配備し、先端技術に対応した指導を実施	
令和3年度の点検結果・現状分析	課題	今後の方向性
	高度化する生産技術、多様化・複雑化する流通・消費形態等に対応できる農業者の育成及び生産振興と農村振興が一体となった政策の推進が必要とされている。	開発された技術や先端技術の生産現場への早期普及・定着や市町村・JA等関係機関と連携した担い手の確保・育成、農業・農村の活性化を推し進める。

2 令和4年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	○新規就農の支援 ・農業大学校研修部で就農希望者向けに就農体験研修、新規就農里親前基礎研修、新規就農里親研修を実施する。 ○技術指導による1等米比率全国1位の達成のための活動 ・品質低下を招く斑点米の発生を防止するため、カメムシ対策等の技術指導を実施する。 ・施肥改善、高温障害対策、適期収穫による品質向上を推進する。 ○県オリジナル果樹品種の作付促進 ・県オリジナル品種であるリンゴ「シナリップ」、ブドウ「クイーンルージュ®」等の作付拡大による果樹経営体の収益性向上を図るため、品種検討会を開催する。 ○スマート農業の推進 ・水田センサー90台の無償貸与を実施する。 ・農業農村支援センターにタブレット端末(61台)を配備し、先端技術に対応した指導を実施する。
DX、ゼロカーボン、共生社会づくり、学びの県づくりに資する取組	【DX】スマート農業推進の機動力を向上するため、タブレットPCを活用し、JAと連携した先端技術指導体制を構築するとともに、農業農村支援センターに推進相談窓口を設置し、スマート農業ミニ講習会を開催する。また、スマート農業の実践にあたり、地域協議会による地域課題の抽出と課題解決のスマート農業技術の現地検証を支援する。

指標の状況及び目標値 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし、—:数値なし]								
No	成果指標	単位	R1年度	推移	R2年度	推移	R3年度(見込)	R4年度目標値
1	新規就農者数	名	190	↘	173	↗	177	180
2	米の1等米比率の全国順位	位	1	↗	2	↘	1	1
3	県オリジナル果樹品種の栽培面積	ha	132	↗	223	↗	240	240
4	新規契約取引成約件数	件	72	↘	48	↘	45	45
5								

事業コスト	区分(単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	前年度繰越			
	当初予算	64,780	63,805	要求 77,514 予算案
	補正予算	-3,944		
	合計(A)	60,836	63,805	要求 77,514 予算案
	うち一般財源	29,758	29,521	要求 25,500 予算案
	決算額(B)	44,484		
職員数(人)	188.0	179.0	179.0	

設定理由	成果指標	1.第3期食農計画の目標達成に向けて農業農村支援センターが重点的に取り組む指標のうち、新規就農支援の実績の指標として、普及活動での重要度が高い項目であるため。 2.第3期食農計画の目標達成に向けて農業農村支援センターが重点的に取り組む指標のうち、県産米の品質の指標として、普及活動での重要度が高い項目であるため。 3.第3期食農計画の目標達成に向けて農業農村支援センターが重点的に取り組む指標のうち、県オリジナル品種の拡大による果樹生産者の収益向上の推進実績の指標として、普及活動での重要度が高い項目であるため。 4.契約取引を行う新たな産地づくりを進めるための指標として設定。
	目標値	1.第3期食農計画のR4年度目標は250名。R1、R2の実績が目標値を下回っていることから、R1~R3の実績(見込み)の平均値を目標として設定。 2.「水田農業トリプルアップ運動」において、水稻うるち玄米の1等米比率で全国1位を維持することを目標としており、品質の高い米の生産を継続的に進めるため令和4年度においても、米の1等米比率を全国1位とすることを目標とする。 3.第3期食農計画のR4年度目標は207 ha。R2年度実績が食農計画の目標値を超えていることから、R3年度実績見込みと同等の数値に設定。 4.細事業「中山間地域農業新需要創出事業」の成果指標として、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して農業農村支援センターに配分した目標値の合計。

事業番号	09 03 04	事業改善シート (令和4年度実施事業分)		<input checked="" type="checkbox"/> 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input type="checkbox"/> 点検		
事業名	農業改良普及事業		部局	農政部	課・室	農業技術課

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
1	農業改良普及運営費	46,959 千円	45,587 千円	要求 予算案 39,374 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	農業改良普及運営費	直接	県下10所の農業農村支援センターに普及指導員を配置して地域における課題を解決するため、普及活動を展開する。		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
2	農業改良普及事業費	17,070 千円	17,479 千円	要求 予算案 37,365 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	農業改良普及事業費	直接	担い手の育成・確保や農業関係試験場が開発した新技術・新品種の普及、農業者の経営改善など、協同農業普及事業の実施に関する指針に基づいた普及活動を展開する。 また、JA等の関係機関と連携した指導体制の整備を図り、本県農業のスマート化の加速を図る。		

細事業 No.	細事業名	R2年度 当初予算	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	
3	中山間地域農産物橋渡し支援事業	751 千円	739 千円	要求 予算案 775 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度 実施内容(予定)		
1	中山間地域農産物橋渡し支援事業	直接	契約取引を志向する農業者等を対象とした農産物取引等に関する基礎知識習得研修会等を開催するとともに、伝統野菜、新品目・新品種等の栽培技術指導及び展示ほを設置する。		